

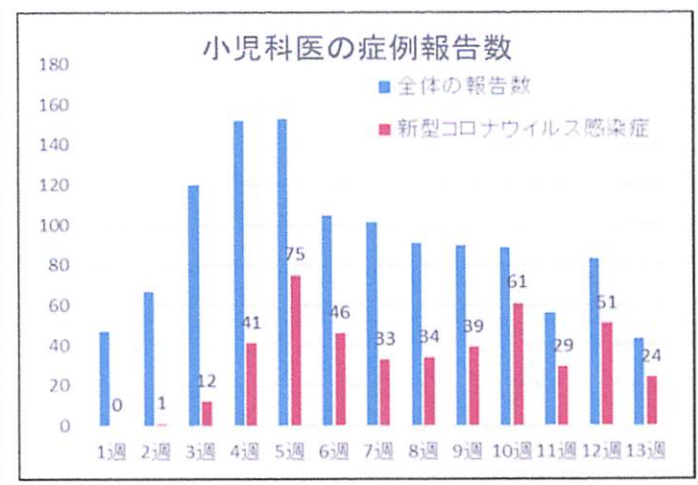
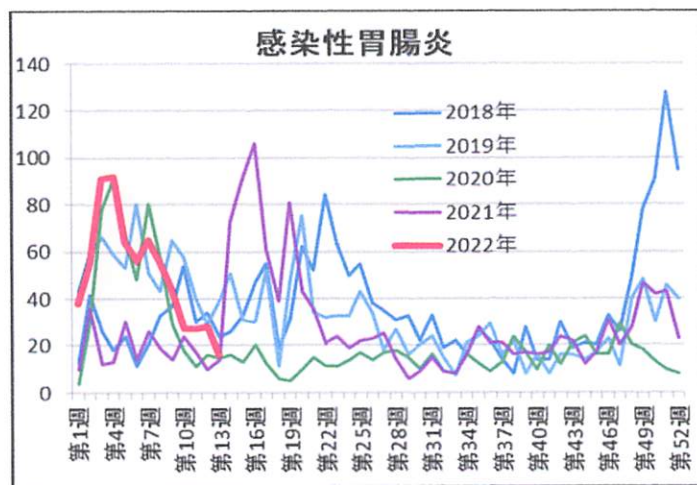
週間感染症情報

2022年9~13週 2022年2月28日より2022年4月3日まで

9 10 11 12 13週

麻疹					
風疹					
水痘(みずぼうそう)					
ムンプス(おたふくかぜ)					
百日咳					
溶連菌感染症		1			
手足口病			1		
ヘルパンギーナ					
伝染性紅斑					
感染性胃腸炎	44	27	27	28	16
ロタウイルス(再掲)					
便アデノウイルス(再掲)					
突発性発疹	2			3	
伝染性膿痂疹(とびひ)					1
ヘルペス性口内炎	0				
アデノウイルス感染症					2
RSウイルス感染症	5				
マイコプラズマ感染症					
ヒトタヌキウイルス					
新型コロナウイルス感染症	39	63	29	51	24
インフルエンザ A					
インフルエンザ B					

報告が遅くなりました。9~13週の5週間の報告です。感染症は少なく、インフルエンザの報告はありません。インフルエンザを代表とする多くの感染症を、コロナ感染予防対策でほとんど見かけなくなりました。RSウイルス感染症の報告も9週以降ありません。鼻汁・微熱の感冒症状の乳幼児が増えてきました。RSウイルス・ヒトタヌキウイルスではないようです。2020年は、春先にヒトタヌキウイルスの小流行がありました。2021年はヒトタヌキウイルスの報告はなく、6月から8月にかけてRSウイルスの大きな流行がありました。今年もヒトタヌキウイルスの報告はありません。感染性胃腸炎も減少しています。嘔吐が主症状の胃腸炎の施設内小流行があります。ノロウイルスでしょうか。ロタウイルスはワクチン接種が定期となり、2020年に1例の報告があった後ありません。今年より、小児科医の報告に、新型コロナウイルス感染症(成人例も含む)の項目を設けました。右下のグラフの様に、第6波ではオミクロン株の流行で、小児の感染例が増え、小児科医の報告数が増えています。山は越えたようですが、下がりきっていません。3回目のワクチン接種を受けて下さい。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)